

学生寮バーチャル見学システムの内製開発

川田純也

香川大学 教育・学生支援部 学生生活支援課

1. 背景

- 入寮に関する問い合わせ対応
 - △ 入学時期が近付くと、入寮に関する問い合わせや見学の希望が増え、多くの時間を取られることがある。
 - ⇒ **簡単に問い合わせへの対応ができる方法がないか。**
- 寮見学の対応
 - △ 入寮希望者は遠隔地に住んでいることが多く、寮見学のために費やす時間や金銭面での負担が大きくなる。
 - △ 寮担当は現地での対応が必要がある。
 - ⇒ **現地に行かなくても寮の雰囲気を把握でき、かつ入寮後のイメージのアンマッチを起こさないようにできないか。**

2. システム開発

《作成方法・開発の流れ》

- SharePoint サイト・・・寮案内サイトの作成
- SharePoint スペース・・・360°ツアーページの作成
- ⇒ 上記サイトがセキュリティ上Web公開できなかったため、Teams会議で担当者がバーチャル見学案内をする形に変更。

《寮案内の流れ》

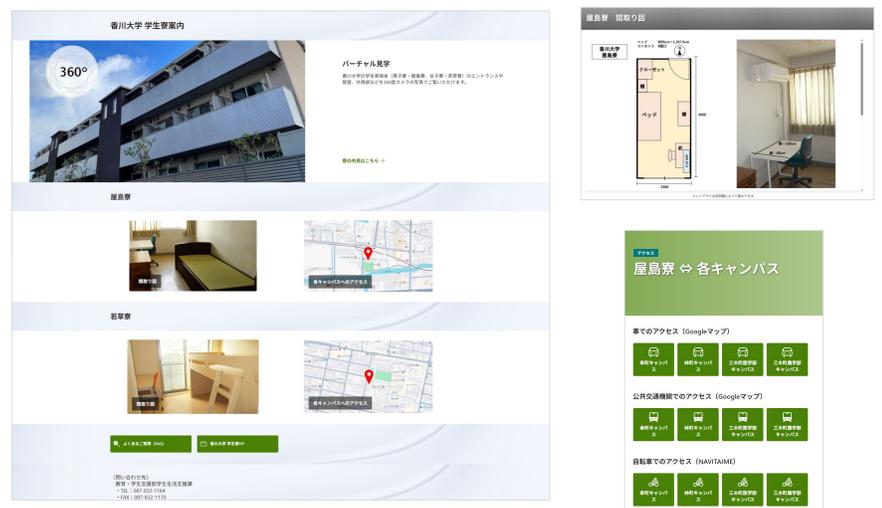


図1 寮案内サイト（SharePointサイト）

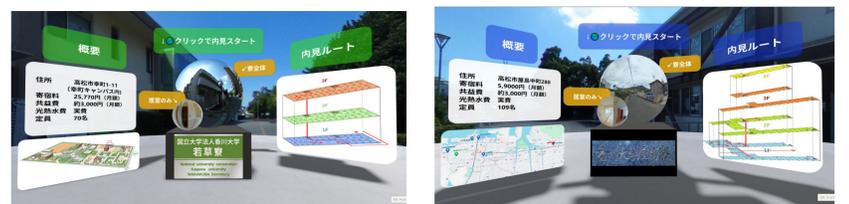


図2 バーチャル空間（SharePoint スペース）

- 入寮希望者が基本情報・希望日時等をHPからForms申請。
- 寮担当者が希望者と日程調整、決定後Teams会議URLを送付。
- 当日、SharePointサイトを画面共有しながら寮案内。

3. まとめ

- 2024年度の実績：8道県・全11件の案内 → 10名の寮応募あり
- ⇒ 入寮の**意思決定の一役**を担えている。
- バーチャル見学で入寮希望者の時間・経費面での負担削減
- ⇒ 自宅から見学ができるため、**交通費・宿泊費、時間の削減**に。
- 寮担当者の負担軽減
- ⇒ 現地に行かず、事務室でバーチャル見学案内可能。
- 休日対応もなし。施設設備等の確認も**Web上ですぐに詳細確認**ができる。

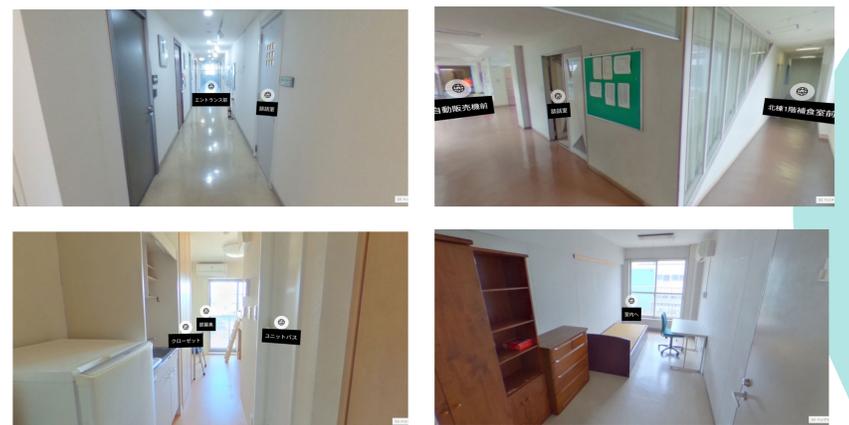


図3 360°ツアー（SharePoint スペース）

4. 今後の展望

- 360°大学関連施設の紹介
- ⇒ 貸出を行う施設などは、現地での確認をしなくても、**広さや設備など具体的なイメージ**ができるようになる。
- 寮担当者の負担をより軽減できる仕組み
- ⇒ 入寮希望者が入寮に関する疑問などを**自ら解決できる仕組み**につなげていく。